

女性とジェンダーの歴史

第 11 号
2024. 2

- 今井けい先生を偲んで 竹内 敬子 (1)
- 特集 JWHN シンポジウム: 「モノ」の歴史とジェンダー
- 趣旨説明 佐藤 繭香 (3)
- 報告
- 一枚の絵葉書から見るイギリス女性参政権運動のプロパガンダ 佐藤 繭香 (5)
- イギリスのジャポニズムと傘をめぐるジェンダー 後藤 礼圭 (14)
- モノ資料からみたジェンダー—骨蔵器・振袖・紙をめぐる— 横山百合子 (28)
- コメント
- Hysterical Historical Mysteries: The Vibrator as Object of Debate Alexandra Hambleton (38)
- 「もの」と歴史 藤原 辰史 (41)
- ジェンダー・マテリアリティ・空間 真保 晶子 (43)
- 受賞者インタビュー
- 2021 年 サントリー学芸賞 (思想・歴史)
- 『戦争障害者の社会史—20 世紀ドイツの経験と福祉国家』(名古屋大学出版会 2021 年) 北村 陽子
- 聞き手: 三時眞貴子・林田 敏子 (46)
- リレー討論「いま、女性史に問われているもの」第 11 回
- 近世イギリスのジェンダー史から広がる風景
- 洗濯婦、エリート男性、生活者としての私、学芸の共同体— 山本 浩司 (55)
- 研究会の記録
- 『女教師たちの世界一周』と「女性史」までの寄り道・回り道・迷い道 堀内真由美 (63)
- 堀内報告への応答—アメリカ女教師の歴史研究の立場から— 佐久間亜紀 (64)
- 堀内報告に寄せて—後続のイングランド女子教育史研究者より— 中込さやか (65)
- 書評
- 日本ジョンソン協会 編
- 『十八世紀イギリス文学研究 [第 7 号]—変貌する言語・文化・世界—』 一ノ谷清美 (67)
- トロイ・ビッカム 著 (大間知知子 訳)
- 『イギリスが変えた世界の食卓』 小野塚知二 (69)
- 歴史学研究会 編
- 『アカデミズムとジェンダー—歴史学の現状と課題—』 澁谷 智子 (71)
- 水戸部由枝 著
- 『近代ドイツ史にみるセクシュアリティと政治—性道徳をめぐる葛藤と挑戦—』 江口布由子 (73)
- 竹沢泰子・ジャン＝フレデリック・ショブ 編
- 『人種主義と反人種主義—越境と転換—』 太田 悠介 (75)
- 宮津多美子 著
- 『人種・ジェンダーからみるアメリカ史—丘の上の超大国の 500 年—』 大類 久恵 (77)
- ジェーン・ハンフリーズ 著 (原伸子・山本千映・赤木誠・齊藤健太郎・永島剛 訳)
- 『イギリス産業革命期の子どもと労働—労働者の自伝から—』 岩下 誠 (79)
- 弓削尚子 著
- 『はじめての西洋ジェンダー史—家族史からグローバル・ヒストリーまで—』 山口みどり (81)
- 荒木和華子・福本圭介 編著
- 『帝国のヴェール—人種・ジェンダー・ポストコロニアリズムから解く世界—』 水谷 智 (83)

イギリス女性史研究会